

庭園樹木実習園の改修

造園緑化コース

1. はじめに

私は造園の授業で学んだ知識や技術を卒業研究・卒業制作に生かしたいという思いから、2年間お世話になった学校にある庭園樹木実習園の改修をしたいと考えた。

2. 改修前

駐車場から本館へ向かう通路にあり、来校者などの人通りは多いが、敷地内の地面をハツユキカズラが覆っていて足の踏み場がない。また、飛び石や流れ、蹲などがあるが、植物が繁茂していて隠れている（写真-1）。

3. 改修の3つの方針

【方針1】 樹木の高さは大きく変更せず、忌み枝、枯れ枝などを抜く。

【方針2】 繁茂している下草は必要部分を除いてすべて抜き取る。

【方針3】 流れは清掃の後、上流、下流を意識し、石を並べる。

4. 改修の内容

【方針1】

・エゴノキの剪定

枯れ枝や弱っている枝が多くあるので、新しい枝や新芽へ切り替えを行った。大きな切り口には癒合材を塗り、切り口の保護をした。

・カクレミノの剪定

飛び石にかかり、歩く妨げになっている枝を抜き取った。エゴノキと同様に切り口が大きいので癒合材を塗り、切り口の保護をした。

・アセビの剪定

垣根の役割があるので、高さは変えず、忌み枝や混み合っている枝を抜いた。手水鉢の前でしゃがんだ時に光が入ってこず、暗くなっているので、適度に光が入り込むようにした。

・ヒイラギナンテンの剪定

燈籠にヒイラギナンテンの葉がかからないように剪定をした。庭園に入った時に1番目立つ部分なので、込み合った雰囲気にならないように剪定を行った。

【方針2】

・ハツユキカズラ

ハツユキカズラは繁茂しすぎていて足の踏み場がないので、残すところと抜き取る場所をはっきりさせた。飛び石を覆っているハツユキカズラはすべて取り、園路の形を出すように周りを剪定した。

・カンスゲ

大きくなりすぎた株が他の植物を被圧しているためすべて抜き取る。

- ・フッキソウ

徒長して見栄えの悪いフッキソウを抜き取った。密集しているフッキソウについてはカンスゲを抜き取った場所に植栽した。

- ・クリスマスローズ

広範囲に実生が生えていて多くなっているので鉢上げと移植を行った。移植ではクリスマスローズのエリアを決め、まとめて植えた。

【方針3】

- ・流れの除草

石と石の隙間や、植栽地と流れの境目がはっきり見えるように除草をした。土や落ち葉を取り、雑草などの根を取った。

- ・石の洗浄

流れに溜まった土の中に石が埋まっていて、石の表面に汚れが目立っていた。石の色がくすんで見えるので、たわしで軽くこすり表面の土を落とした。

- ・石の並べ替え

石の大きさを大、中、小に分け、自然の川のように上流は大きな石、中流は中くらいの石、下流は小さな石を並べることを意識した。

5. まとめ

今回、剪定や下草の管理、流れの改修について自分で考え、庭園樹木実習園を改修することができた（写真-2）。

自分1人で改修を行ったことがなく、実習では人の意見に便乗することが多かったので、自分だけで改修を行うことが不安だった。しかし、先生のアドバイスを受けながら、現場にあうよう臨機応変に対応することができた。

岐阜県立国際園芸アカデミーも20周年を迎え、これまで先輩方が制作した庭園作品が資源として多く残っている。これらの資源を今回の改修により資産に変えることができたと感じる。これからは新しい庭園を造るというより、今まであった庭園をどう守っていくことが重要になってくる。今回の改修の経験を生かして、今後の就職先でも国際園芸アカデミーの2年間で得た自分のセンスを生かし、仕事を行っていきたいと思う。



写真—1 改修前



写真—2 改修後